



令和3年 2月 22日
午前・午後 8時37分受領

南山城村 議会議長

梅本 章一 様

令和3年 2月 22日

南山城村議会議員 齋藤 和憲



一般質問通告書

次の通り通告します

| 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|----------------|--|-------|
| 1、コロナ対応について | <p>コロナ対応の緊急事態宣言延長の中、全国的にも、また京都府内でも感染者減少傾向になっているが、村内は逆に増加している。2月20日現在、南保健所管轄で9名発生。2月だけでも4名発生している。人口 79,062人の木津川市で131人。村は2595人で9名。一概には言えないが、木津川市人口比率に換算すると274人になる計算になり、発生比率は木津川市に比べ非常に高い。南保健所以外でも発生している現状から質問する。</p> <p>① 12月議会で「感染者がでた場合、関係機関と連携し臨機応変に対応する」と述べているが、今回の感染発生時の対応内容と村民への周知内容を確認したい。</p> <p>② 当初は村内コロナ発生状況を防災無線で伝えていたが、今はしていない。その理由を確認したい。</p> <p>③ 最近の村内発生状況を見ると高齢者が増加している。福祉事業者でのPCR検査を積極的に対応すべきだ。</p> | 村長 |
| 2、メガソーラー開発について | <p>メガソーラー開発での作業時間早出作業中止の村対応は多くの村民が感謝している。その内容を報道した「南山城民報」を見た、奥田の匿名希望の男性から、「今、奥田住民の大部分は開発に反対しているが声を出しにくい、是非とも奥田道の道路傷みの中途半端対応や路肩の問題など、住民の代わりに取り上げ欲しい。」と依頼があった。また、事業者が奥田道を使用する場合、村民優先を約束したが、現状では事業車との対向時、2、3分以上待たされる時が多くあると聞いている。私は平成31年の3月議会で「このように生活を脅かすことになる」と指摘した。その通りになっている。そこで質問する。</p> <p>① 村として、奥田道の現在の状況を把握しているか、そしてどう見ているのか、確認したい。</p> <p>② 村道通行は村民優先を厳守するように、強く指導すべきだ。</p> <p>③ 元々、奥田道は当初約束では事業者は使わないと約束した。しかし実際は工事が遅れるとの理由で村道を使っている。</p> <p>③-1 太陽光発電資材持ち込みが始まったら、村道の損傷や生活道路の危険度は今の比ではない。村はどう見ているのか確認したい。</p> <p>③-2 資材持ち込みは当初約束どおり、6m道路を使用すべきだ。村の考えを確認したい。</p> | 村長 |

(注) 1 質問の要旨は、具体的に記載してください。(議員必携154ページ)
2 質問の相手は、村長、行政委員の長または監査委員とします。